

河底道路問答

工事ニュースにもとりあげたように、神戸市では日本で始めての試みと思われるノンストップのダンプ専用道路を完成した。住吉川は洪水処理が目的の川で年間2～4時間しか流れないことが、この構想を生みだしたものであろう。しかし河川と道路を交通の立場で一本に考えることは、用地確保がきわめて困難な今日、行政的にも近い将来の問題として大いに研究してみる必要がありそうである。「第二阪神国道を語る」座談会のあと、原口市長と司会者の間にかわされた問答を簡単に摘記してみる。

原口 神戸では東西に3本の鉄道と2本の国道が走っているの、これを横断して土砂を運ぶのが非常にむずかしい、市民の迷惑にもなるので住吉川に目をつけたわけです。10億かかるところが2億8000万でできました。

司会 建設省や県が反対したでしょうね。

原口 知事管理の重要河川なので反対が多かった、しかし運搬するだけだから何とか納得してもらいました。河底を50cm下げて50cm上げ断面積は同じにしました。流量は同じことです。左右の堤防の根固めにもよいし、コンクリート舗装だから河川の粗度係数もよくなりました。

司会 一石二鳥ですね。都市間のバイパス高速道路にも河川によっては適用できそうですね。

原口 学会あたりでとり上げて下さいよ。多摩川なん

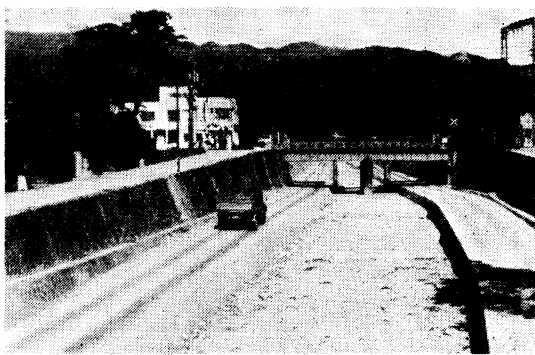
か今のままなら十分使える。河川敷の遊んでる川も多いですからね。洪水のときは駄目ですが……。第一高欄がつくれない。洪水のときにひっかかるからね。居眠り運転したら河の中へ落ちこちる(笑)。

司会 関西のダンプは背番号のえらく大きいのがついていて、無茶をするとすぐ市民から通報が行くそうですが。

原口 ええ、3年ほど前に考えて実行しています。警察署ごとの番号になっているがミソですか。

司会 大変参考になりました。今後も新しいアイデアをどしどし実行されるよう市長の御健斗をお祈りします。(文責：編集部) 注：座談会は本誌30～36ページ参照

第2阪神国道より見た住吉川河底道路



土の締固め

—主として道路土工に関連して—

技報堂全書57

工学博士 久野悟郎 著
建設省土木研究所千葉支所土質研究室長

土の締固めという技術は道路に関してあるのみではなく、もちろん本家であるアースダムはじめ河川堤防、鉄道、飛行場などあらゆる土の構造物の築造に必要な不可欠なものである。本書は主として道路盛土に関する事項が多くなっているが、試験法に関する部分は共通的なものなので、今迄のように多くの本を調べる手数が省けると共に、すぐ役立つ好書として推薦できる書。

B 6判 320頁 定価 650円

コンクリート橋

工博 横道英雄 著
B 5判・定価 2,500円

道路工学

片平信貴 著
B 5判・定価 1,800円

図書目録送呈

東京都港区赤坂溜池5 振替東京10 Tel. 481-8581

技報堂